

第8回「東大路通歩行空間創出推進会議」 摘録

1. 日 時 平成27年3月26日（木） 16時00分～17時15分

2. 場 所 東山区役所大会議室（3階）

3. 出席者 別紙のとおり

4. 内 容

（1）開会

【開会の挨拶】

（堀池委員：京都市交通政策監）

- ◆本日は、東大路通を2車線化した場合の具体的な道路の形、周辺道路への影響を分析した結果について報告する。
- ◆京都市では、「歩くまち京都」という基本理念をもって様々な取組みを進めている。
- ◆そのひとつに四条通もあり、自動車をスムーズに通すことが目的ではなく、歩行者にゆったりと歩いて買い物やまち歩きを楽しんでいただくことを目的としている。
- ◆京都市が目指すのは、公共交通を優先するまちづくりである。
- ◆東大路通の道路構造は現在の基準を満たしていない狭い車線幅であり、今後整備するにあたっては、基準に適合した車線幅を確保して、緊急車両の通行がスムーズに行えるように考えている。
- ◆東山区全体、東大路通がよくなるように議論を進めていきたいので、忌憚のない御意見をいただきたい。

【議長の挨拶】

（議長）

- ◆今年度1年間、どのような道路の断面にするのかの検討や過去に集めた交通調査のデータを用いて交通解析を行ってきた。これに基づき、積極的な議論をお願いしたい。

（2）議事

【事務局による資料説明】

- ・議事1「道路の断面構成(案)について」
- ・議事2「交通解析について」
- ・議事3「平成27年度の予定について」

【質疑応答】

(議長)

◆まずは議事1・2について、その後、議事3について御質問・御意見をいただきたい。

(地元代表)

◆7～8 年前に東大路新駅の設置について京都市に要望をだし、JR 側の了解もあり、地質調査まで行ったが、資金面で計画がストップしていると聞いている。パークランドライドで大津方面に車を止めて電車で京都に来て観光する人も多いので、東大路新駅を設置し、バス停を設ければ、公共交通利用促進につながる。計画の中に東大路新駅の設置を盛り込んでいただきたい。

(事務局)

◆京都市議会で過去に3回請願が行われており、市でも検討を行ったが、JR から具体的な提案はいただいていない。

(地元代表)

◆JR からは、上り線と下り線の間にホームを作る形であれば可能と聞いている。

(事務局)

◆列車の運行本数が多く工事が非常に難しい、また、利用者予測を考慮すると費用や採算面で厳しい等の課題があると聞いている。引き続き、解決策について JR とは協議している状況である。

(地元代表)

◆東大路新駅の計画は止まっているのではなく進んでいるということによいか。

(事務局)

◆非常に大きな課題があり、実現に向けて粘り強く JR と協議しているが、決定的な解決策がある状況ではない。

(地元代表)

◆JR 側の問題でなく、京都市側からの働きかけが不足していると聞いている。

(事務局)

◆持ち帰って確認させていただく。

(議長)

◆道路の構造、交通解析についての御意見はないでしょうか。

(地元代表)

◆交通解析では、四条～五条の結果を示してあるが、五条～七条は道路幅員も狭く、現在も混雑している。もっと厳しい結果になるのでは。

(事務局)

◆今回の会議では、代表的に四条～五条の結果をお示ししている。次回の会議では全体像をお示ししたい。

(議長)

◆次回の会議では、各路線の具体的な結果を示していただけるとのことである。

(地元代表)

◆コンピューター上のシミュレーションではなく、実際に2車線化の社会実験をやってはどうか。そうでないと住民が納得する説明はできない。

(事務局)

◆2車線化後の状況をコンピューター上で解析する交通シミュレーションを行っており、次回の会議でお示しする予定である。

(地元代表)

◆現在、土日の北行の渋滞は、東山五条交差点を先頭に JR 東海道線の南側(今熊野橋付近)まで伸びている。五条～七条間の道路幅員は狭く、1号線への右折車両が多いため、2車線にすると渋滞が東福寺付近まで伸びるのではないかと。これは、商店街にとってはデメリットとなる。

(副議長)

◆交通解析の結果で、東大路通は 20～40%交通量が減少するとある。2車線化すれば交通容量は半分となるため、交通量が 50%減少すれば今と同じ状態となるはずである。しかし、交通量が 20～40%しか減らないのであれば渋滞が前よりひどくなることが考える。それを考慮して、マイカーをどうするか、公共交通をどうするかということを考えていく必要がある。

(事務局)

- ◆今回の交通解析結果は、1日単位のものであるため、1日のうちピーク時がどうなるか、平常時や観光シーズンがどうなるかを十分に検討していく。

(副議長)

- ◆交通に関するパッケージ施策が必要である。公共交通を優先した場合は、観光マイカーをいじめる結果になり、いじめられた観光マイカーは次に京都には来なくなる。例えば、京都に来るときに賢く観光する方法をモビリティマネジメント(以下「MM」という。)と組み合わせせて情報提供するなどの取組みも必要ではないか。

(議長)

- ◆MM とは交通に関わる管理を公共が行っていくことであり、地域の方や観光客の方のご協力が必要である。
- ◆かつて四条通で実施したような社会実験を実施すべきとのご提案もあったがそのあたりについてはどうか。

(事務局)

- ◆実験の良いところは実際の状況が見えるところだが、長期間行わないと本当の姿は見えない。1日や1週間の短期間の実験をしても、それが本当の姿ではない。四条通では1日で社会実験したが、周知は行ったが知らない人が多く、混乱が生じた。費用の問題もあるが、部分的な社会実験ならば検討して行く余地はあると考えている。

(地元代表)

- ◆費用の問題は、地元の人間で取り組めば解決できるのではないか。

(事務局)

- ◆地元のご協力があれば色々な可能性が広がるので、今後ご相談したい。

(副議長)

- ◆地元の方を巻き込んでの社会実験は賛成である。事業には反対の方もおられるが、社会実験を行えば理解が進むのではないか。
- ◆観光ピーク時、特に11月23日は一年で一番混む日で、車は渋滞し、バスにも乗れない。公共交通を使ってくださいと言うならば、本来はバスには乗れるようにすべきである。最近では観光客が増えたために一年中バスに乗れない傾向にある。東大路通については、このあたりの対策も併せて検討すべきである。

(議長)

- ◆公共交通の受け皿の余力がなくなっている。この発言に対して事務局のご意見はないでしょうか。

(事務局)

- ◆ピーク時をどうするのか、また、全体の利用の増加に対して供給量をどうするかの問題がある。地下鉄とバスを組合せると早いですが、実際はバス 1 本で行く人が多い等、情報提供やダイヤの改善等の工夫の余地はある。公共交通の問題もしっかり考えていきたい。

(地元代表)

- ◆東山区は高齢者が多く、バスやタクシーを利用されている。公共交通のことを考えた後、道路をどうするかを考えるべきではないか。

(事務局)

- ◆地域全体で公共交通網を考えていく必要がある。東大路通の沿道にお住まいの多くの方はバス等をご利用いただいております、これをどのようにしていくかは、地域の人やバス事業者の意見も聞きながら検討していく。

(議長)

- ◆四条通の社会実験についても参加しているが、失敗だとは思っていない。色々な問題が起こり得るというシミュレーションが出来た。
- ◆道路のことだけでなく、細街路、荷下ろし、自転車対策などのソフト対策を同時に行いながら事業を進めてきた。
- ◆歩道の拡幅と公共交通、住民と観光客の問題について、どうやって最適な答えを作っていくのかの議論をしていければと考えている。

(副議長)

- ◆大きな流れとして世界の主要な都市、アジア、日本でも歩行を中心としたまちづくりが進んでいる。
- ◆四条通は沿道の事業者が賛同して進んだが、東大路通はどうやって合意を取っていくかが課題である。
- ◆マイカーや搬入車両だけ規制して市バスは何もしないのでは理解は得られない。一方で、地下鉄の赤字などの交通局全体の問題もある。
- ◆東山にはプリンスラインがあるが、京都駅の観光案内所では案内してくれない。
- ◆ありとあらゆる事を検討しながら、ライフスタイル・地域全体の取組みが重要である。

◆交通局，市バスはどういう提案や改善があるのかをこの会議でも早々に出していただきたい。

(地元代表)

◆大和大路通は，タクシーや自家用車が多く，歩行者にとって歩きにくい状態である。幹線道路だけではなく，細街路の整備や施策も考えて欲しい。

(関係機関)

◆交通解析結果で河原町通は増減がないという理解でよいか。

(事務局)

◆混んでいるところには行かない，流れやすいところに行くということを踏まえ解析を行うと河原町通は避けて，道路が広く車線数の多い堀川通に流れるという結果となった。河原町通については増減がないことがわかるようにする。

(議長)

◆緊急車両の問題，MM 等のソフト事業の対応，公共交通と事業者，バス停を一体のものとして考えて行くべきではないか。

◆社会実験的なことも地元の人が積極的に参加するというご提案もあった。

◆今回の会議で出された宿題への回答を次回会議では準備していただきたい。

(3) 閉会

【閉会の挨拶】

(別府委員：京都市都市計画局歩くまち京都推進室)

◆今回は，具体的にどのような対策があるかとい中で，意見交換ができるようにするという宿題をいただいた。また，公共交通のあり方やソフト対策と併せて検討するようにとのご指摘をいただいた。色々な選択肢が出てくると思うので，一緒に考えながら答えを出していきたい。

◆他の幹線道路への交通の転換をスムーズに進めるか，また，細街路への問題もあったので具体的な答えが出していけるよう検討していきたい。

(以上)